

整理番号	42-11	事務事業名	教育用コンピュータ整備事業 (小中)		作成部署	教育委員会 管理部管理課	電話	内線886
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	鈴木 正広	課長職名	青山 章二	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H4	根拠法令等	パソコンを使った情報教育の推進。					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)								

1 計画(プラン)

上位施策との関連 (総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	学校教育	(第2節)
	施策	教育内容の充実	(第3施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	市立小中学校、児童生徒	
	意図 (何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	パソコンを使った情報教育推進のための整備。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	パソコン等機器の借上料・借入金の支払い 小学校10校のソフトウェアの購入 中学校6校のインターネット接続の高速化接続切替
		17年度	パソコン等機器の借上料・借入金の支払い 大曲中・広葉中・緑陽中のパソコン等機器の更新 中学校3校のソフトウェアの購入

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	26,892	35,736	17,328	36,807
	合 計	26,892	35,736	17,328	36,807
人件費 (概算)	人数(年間)	0.100	0.400	0.30	0.30
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= x	900	3,600	2,700	2,700
総事業費 +		27,792	39,336	20,028	39,507

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	パソコン整備(更新)数	0台	0台	135台(3校更新)	135台(3校更新)
	ソフトウェア導入校数	0校	10校(小)	3校	3校
	インターネット高速化接続切替校数	0校	6校(中)		
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	1台当たり児童生徒数	9.1人/1台	8.9人/1台	8.2人/1台	8.0人/1台
	パソコン教室の整備率	100%	100%	100%	100%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	一人当たり整備コスト				
	(総事業費/児童生徒数)	4,901円	7,446円	3,668円	7,318円

整理番号 42-11

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等
 国は公立学校における整備の目標値を、普通教室のパソコン整備台数が5.4人/1台、校内LAN整備率100%、高速インターネット接続100%としている。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	学校設置者である市が整備する必要がある。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	学校設備の機能として、また情報機器を活用する教育の質的充実を図るため妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	機器更新やソフトウェアの導入、校内LANの整備が必要とされている。	校内LANなどの整備については、本市におけるコンピュータ教育のあり方を学校と充分協議し、進める必要がある。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	パソコン教室のハードウェアを整備し、H16年度はソフトウェアやインターネットの高速化などの整備が図られ成果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	専門性が高く、現在の教育委員会職員で進めることは難しいため、整備に向けて時間を要する。	保守管理等は、専門業者に委託する方向で検討が必要。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	<p>今後は、ハード、ソフトの更新とともに、職員室及び校内LANの計画的整備を検討する必要がある。</p>
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	<p>本市のITを活用した教育のあり方や手法について、学校と充分協議の上、校内LAN等の整備計画を今後検討していく。</p>